01　設備確認表

本補足資料により、メーカー固有様式や過去様式がなくても点検項目、判定、作業分担、費用及び報告内容を特定できる。設備固有情報は初回点検時に確認欄へ記入する。

項目	確認内容
設置場所	イベントホール
設備区分	移動観覧席　□雛段型　□平台型
席数	前部（平台型）198 席・後部（雛段型）648 席、合計 846 席
メーカー	□銘板で確認　□不明
型式・製造番号	
製造・設置年	
駆動方式	□電動　□手動　□併用　□その他（　　）
制御方式・電源	
安全装置	非常停止、リミットスイッチ、インターロック等：
図面・取扱説明書	□あり　□なし　□確認中
確認日・確認者	
確認根拠・資料番号	

02　本体・座席点検分担表

実施 14 との担当範囲及び費用範囲は、次表のとおり区分する。

座席本体、座席固有の可動部及び取付部は実施 14 の対象とし、本業務では点検費を重複計上しない。本業務は、移動観覧席本体の構造、フレーム、床・段床、走行・駆動、操作・制御・配線、起立・収納及び安全機構を対象とする。

対象	本業務で実施	別業務・別途対応	境界の考え方
本体フレーム・床・段床	外観、変形、亀裂、接合、締結、作動時安定性	大規模補修・部材交換	移動観覧席の構造・作動に関わるものは本業務
走行・駆動装置	モーター、減速機、チェーン等の外観・作動・異音・注油	分解整備、主要部品交換	通常調整・注油まで定額
操作・制御・配線	スイッチ、制御盤、配線、ケーブル、絶縁、安全回路	制御機器・配線交換	本体作動に関する電気・制御は本業務
起立・収納・安全機構	作動、ロック、停止、インターロック、非常停止	機構部品交換、改造	本体の安全動作は本業務
座席本体	対象外	実施 14 で実施	座板、背板、張地、脚、肘、試座等は実施 14 の対象
座席可動部・取付部	対象外	実施 14 で実施	座席固有のヒンジ、ばね、ストッパー、取付ボルト、ブラケット等は実施 14 の対象
椅子の美装・張地清掃	対象外。ただし本体作動中に座席側の異常を発見した場合は実施 14 担当へ連携	日常清掃・専門クリーニング	保守点検と清掃を区分

03　標準点検表

点検区分	主な点検項目	方法	判定	測定値・処置・備考
本体外観	変形、亀裂、腐食、破損、脱落、異物、清掃状態	目視・触診	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
構造・接合部	フレーム、床、段床、手すり、ボルト、溶接部、支持部	目視・打音・締付	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
走行・駆動	車輪、レール、モーター、減速機、チェーン、軸受、異音・振動	作動・目視・聴音	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
起立・収納	展開、収納、起立、復帰、同期、ロック、停止位置	全行程作動	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
操作・制御	操作スイッチ、表示、制御盤、リレー、接触器、非常停止	操作・作動	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
電気・配線	ケーブル、端子、被覆、接地、絶縁、引掛り・断線	目視・測定	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
安全機構	リミット、インターロック、非常停止、誤操作防止、警報	作動確認	□良 □経過観察 □要修理 □停止	
総合作動	無人確認後の展開・収納、異音、干渉、停止位置	総合作動	□良 □経過観察 □要修理 □停止	

04　判定基準

判定	基準	対応
良	異常がなく安全に使用できる	継続使用
要経過観察	直ちに安全へ影響しないが、劣化や変化を継続確認する必要がある	位置・状態・次回確認事項を記録
要修理	現時点で限定使用できる場合を含むが、修理・部品交換が必要	使用条件を明示し、見積り・修理提案
使用停止	人身事故、設備損傷又は重大故障のおそれがある	直ちに停止・隔離・速報し、復旧承認まで使用禁止

05　実施 14 への連携

座席本体、座席固有の可動部及び取付部に関する点検集計は、実施 14 の帳票に記録する。

06　実施 14 への連携記録

本体点検中に座席側の異常を発見した場合は、位置、状態、使用可否及び写真番号を実施 14 担当へ連携し、その旨を本業務の報告書に記録する。

07　安全対策チェック表

確認事項	実施内容	確認
作業区域	第三者が立ち入らないよう区画・表示し、必要な監視者を配置	□
電源管理	必要に応じ電源遮断、施錠、操作禁止表示により誤起動を防止	□
作動前確認	工具・資材・人員の退避、周囲の安全、監視者の配置を確認	□
挟まれ・巻込み	可動範囲へ立ち入らず、点検上必要な場合は確実な停止措置	□
転落防止	段床、開口、端部、高所での転落防止措置を実施	□
操作管理	責任者の合図で操作し、複数者が無断で操作しない	□
復旧確認	工具等の残置がなく、カバー・安全装置が復旧していることを確認	□
使用可否表示	要修理・使用停止箇所を明示し、発注者へ引き渡す	□

08　費用区分表

作業・費用	定額委託費	別途費用	条件
年 2 回の定期点検・総合作動	含む	−	全対象・全項目
通常の増締め、調整、注油、清掃	含む	−	点検に伴う軽微な作業
報告書、写真、測定記録	含む	−	各回提出
通常資機材・測定器・交通費	含む	−	点検実施に必要なもの
消耗品	軽微かつ一般的なものは含む	高額・設備専用品は別途	交換前に区分確認
機構・電気部品の交換	−	対象	見積り・事前承認
オーバーホール・分解整備	−	対象	範囲、工程、費用を事前承認
定期点検外の緊急点検・派遣	−	対象	安全助言・受付を除き事前承認
応急安全措置	連絡・立入防止等は含む	部材・復旧作業は別途	緊急後速やかに報告
改造・法令対応工事	−	対象	仕様・責任分界を別途確定

09　緊急対応条件・記録

段階	標準対応
受付	発生日時、連絡者、現象、使用状況、人身影響、停止状態を確認
安全助言	使用停止、立入制限、電源遮断等を電話等で助言
派遣判断	安全性、イベント予定、遠隔確認結果を踏まえ発注者と協議
現地対応	原因調査、応急措置、使用可否判定、復旧案・概算提示
復旧	発注者承認後に修理・部品交換を実施し、作動確認
報告	受付・到着・完了時刻、原因、処置、交換部品、残存課題を記録

10　緊急対応記録様式

記録項目	記入欄
受付日時・連絡者	
現象・対象設備	
安全措置・使用停止	
技術者派遣・到着	派遣決定：　　到着：　　担当：
原因・調査結果	
応急措置	
恒久対応・見積り	
復旧日時・確認者	
残存課題	
助言日時・内容	
派遣判断日時・根拠	

11　定期点検報告書様式

項目	記入内容
点検回	令和　年度　第　回
実施日時	令和　年　月　日　　時　分〜　時　分
実施者・資格等	
対象	移動観覧席本体一式（構造、フレーム、床・段床、走行・駆動、操作・制御・配線、起立・収納、安全機構及び総合作動）
使用測定器	名称：　　管理番号：
点検結果集計	良：　　経過観察：　　要修理：　　使用停止：　　※本体側の点検項目数・箇所数を記入
調整・整備内容	
交換部品	□なし　□あり：
未処置事項	
総合判定	□使用可　□条件付使用可　□一部停止　□全面停止
次回までの対応	
受託者責任者	
発注者確認	

12　作業写真・不具合写真

写真 No.1 撮影場所・対象：	写真 No.2 撮影場所・対象：
写真 No.3 撮影場所・対象：	写真 No.4 撮影場所・対象：

写真番号と設備・座席・位置図の識別番号を対応させる。必要枚数に応じて複写する。

13　初回点検時の確認

公募時に本仕様書と本補足資料をセットで提示することにより、対象範囲、最低点検項目、判定、費用負担、緊急対応及び成果物を特定する。座席本体、座席固有の可動部及び取付部は実施 14 による。

No.	確認事項	本業務での扱い	確認
1	メーカー、型式、製造番号、駆動・制御方式	設備確認表へ記入。不明でも標準点検表で実施	□
2	メーカー点検様式・判定基準	入手時は標準様式との不足差分を補完して使用	□
3	本体・座席の分担	座席本体、座席固有の可動部及び取付部は実施 14。本業務は本体構造、フレーム、床・段床、走行・駆動、制御・電気、起立・収納及び安全機構を対象とし、重複計上しない。	□
4	故障受付・派遣条件	緊急対応条件に基づき、到着見込みを個別調整	□
5	部品交換・オーバーホール費用	費用区分表により事前承認	□
6	過去履歴	なくても履行可能。入手時は経過観察・部品提案に活用	□

14　安全機構等 測定 状態記録

機器・部品・座席・対象項目ごとに本票を複写して使用する。

項目	記入欄
対象設備・点検日・実施者	
非常停止 作動・停止状態	
リミットスイッチ 作動状態	
自動停止位置 測定値・位置	
モーター発熱 温度・測定条件	
異音 発生部位・具体的状態	
絶縁抵抗 測定値・測定条件	
ケーブル損傷 箇所・状態	
判定・処置・写真番号	